

独立行政法人国立病院機構千葉医療センター千葉東病院で実施する
臨床研究の研究対象者等への公開情報

研究名称： 巣状分節性糸球体硬化症移植後再発における抗nephryn抗体の関与

上記の研究について、研究対象者等に対し、以下のとおり公開いたします。

	公開事項	内容
①	試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	当院にて診断・病状評価目的で腎生検を行い巣状分節性糸球体硬化症（FSGS）と診断された患者さんの「残余検体」と「診療情報」を用いた研究です。「残余検体」とは既に採取された組織を用いて病理学的診断が確定した後に余剰分として残った検体で研究のために新たに採取されるものではありません。「診療情報」とは日々の診療で得られた情報で研究のために取得されるものではありません。解析は本研究の代表機関である東京女子医科大学で行われるため、検体と診療情報は匿名化された上で、東京女子医科大学へ提供されます。
②	研究協力をお願いしたい方（対象者）	当院にて診断・病状評価目的で腎生検を受けられ、巣状分節性糸球体硬化症（FSGS）と診断された患者さんが本研究の対象となります。
③	利用し、又は提供する試料・情報の項目	本研究は、これまでの診療で診断や病状評価目的で人体から取得された検体のうち残余検体とを用いた研究です。解析されたデータは個人が特定できない形式で厳重に管理され、研究終了後5年間保存されます。
④	利用する者の範囲	収集された検体ならびにデータは、本研究の研究代表者、主任研究者、共同研究者によって、解析されます。第三者研究機関にてデータが利用されることはありません。
⑤	試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	国立病院機構千葉医療センター千葉東病院 腎臓内科 医長 川口武彦
⑥	研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。	本研究は新たな侵襲および介入を伴わず、予め診断や病状評価目的で人体から取得された検体のうち残余検体を用いた研究で、文書や口頭での同意取得は行いませんが、研究不参加の申し入れは可能です。不参加の場合においても診療等は一切不利益を与えることはありません。
⑦	⑤の研究対象者真又はその代理人の求めを受け付ける方法	研究不参加申し入れ書を記入し、当院へご持参、または下記までご郵送下さい。 国立病院機構千葉医療センター千葉東病院 腎臓内科 川口武彦 〒260-8712 千葉市中央区仁戸名町673番地